

職 員 認 証 基 盤 連 携 仕 様

1 共通基盤システムとの連携仕様

既存の職員ポータルなどの共通基盤システムと連携し、以下の機能を実現すること。

・シングルサインオンの実現

起動は、職員ポータルからのみ行うこととし、共通基盤システムからユーザID及びパスワード等の受け渡しによって、シングルサインオンを実現すること。

2 共通基盤システムと電子住宅地図システム（「以下地図システム」という。）の連携イメージ

共通基盤システムとの連携イメージを図1に示す。

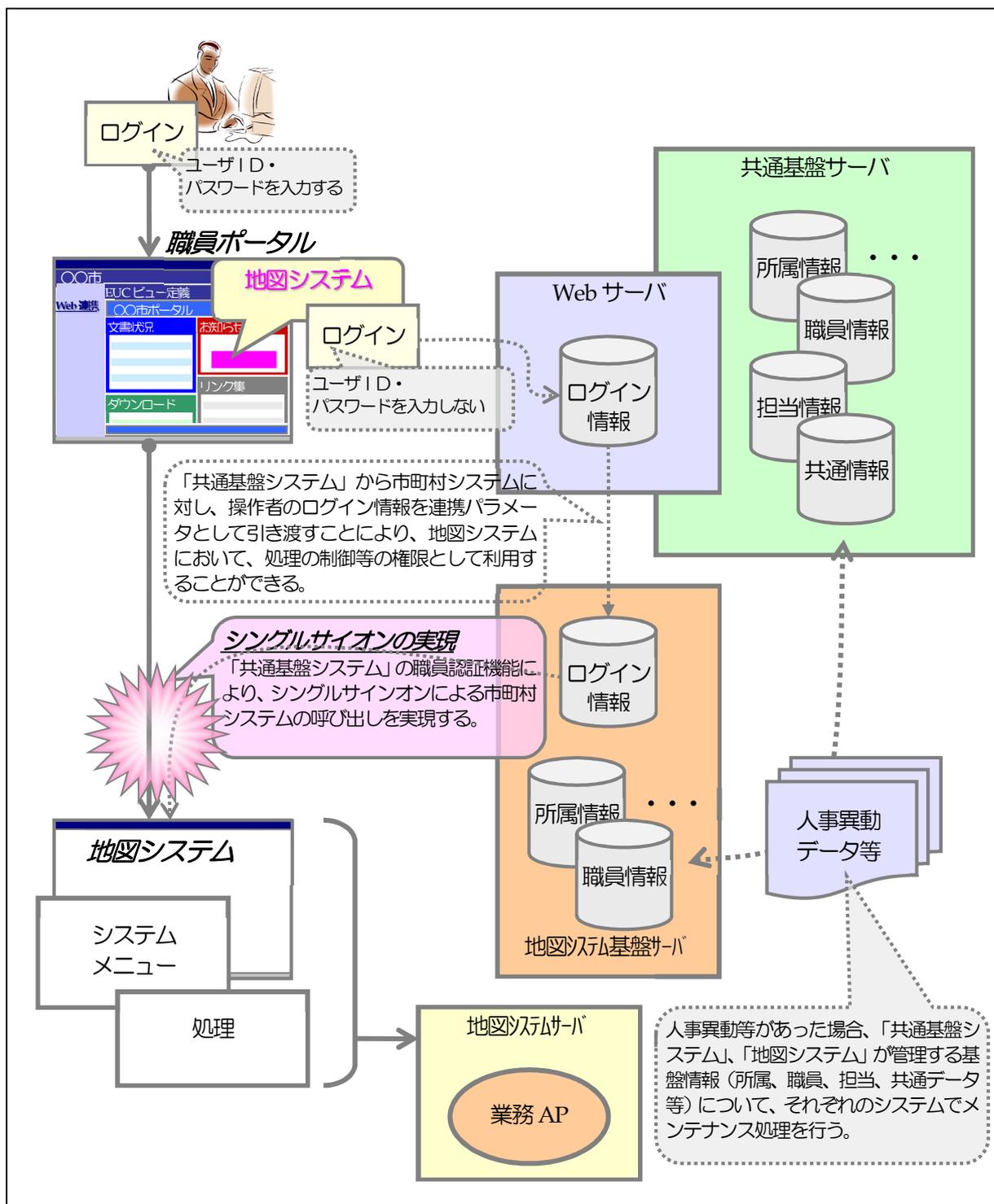


図1 共通基盤システムとの連携イメージ

3 シングルサインオンの実現方法

(1) 起動時のユーザ情報等の受け渡し

職員ポータルから地図システムを起動する場合、共通基盤システムからユーザ情報等の連携情報をURLパラメータとして引き渡す。受け渡し可能な連携情報の詳細は、表1に示す。なお、職員情報等の受け渡し方式は、セキュリティを確保するため、ポストによる方式とすること。

図2にURLによる連携情報の引渡し方法の例を示す。

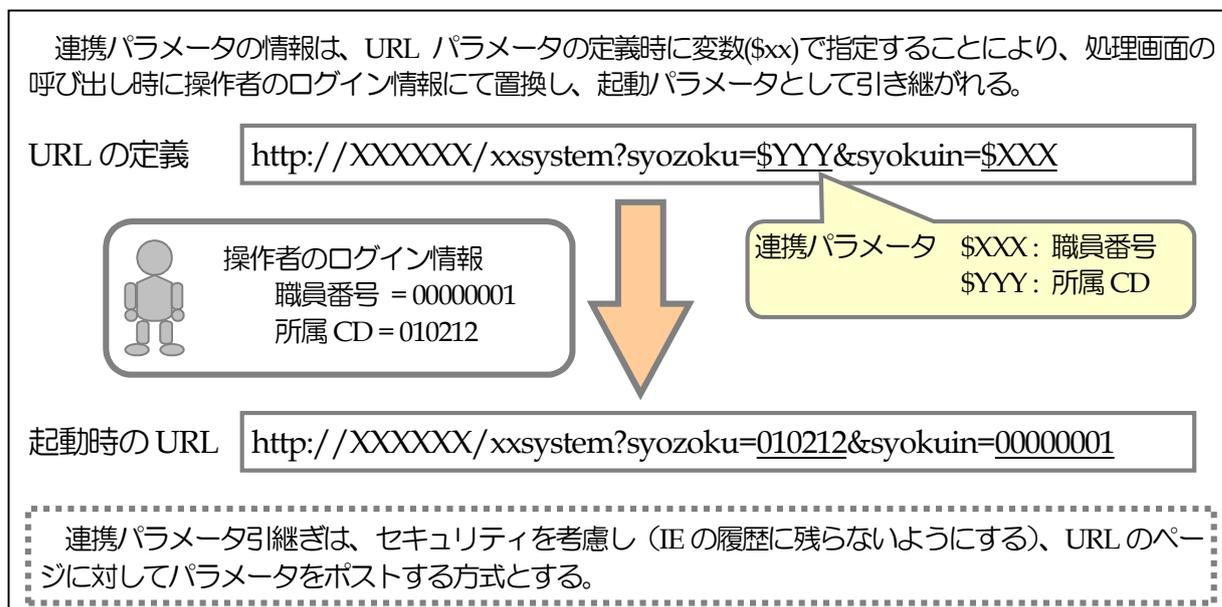


図2 URLパラメータによる情報連携の例

(2) ウィンドウの連携方式

システムの起動にあたり、呼び出し側の職員ポータルウィンドウと地図システム用ウィンドウの関係については、次の2つのパターンの連携が可能である。

① オンラインベースフレーム連携

共通基盤システムが提供するウィンドウフレームで、親ウィンドウである職員ポータルからセッションの管理が可能とする方式。共通基盤システムと連携したセッション管理を行うためには、地図システムの全ての画面をこの方法で呼び出し、連携パラメータの引継ぎが必要となる。

② ブラウザ連携

職員ポータルとは独立したブラウザを新規に起動する方式。

両連携方式の概要及び各方式の連携イメージを、図3、4、5に示す。

※なお、今回の地図システムの導入に当たっては、共通基盤システムからセッション管理が行えるオンラインベースフレーム連携でなく、ユーザID及びパスワード等を連携するだけのブラウザ連携でよい。

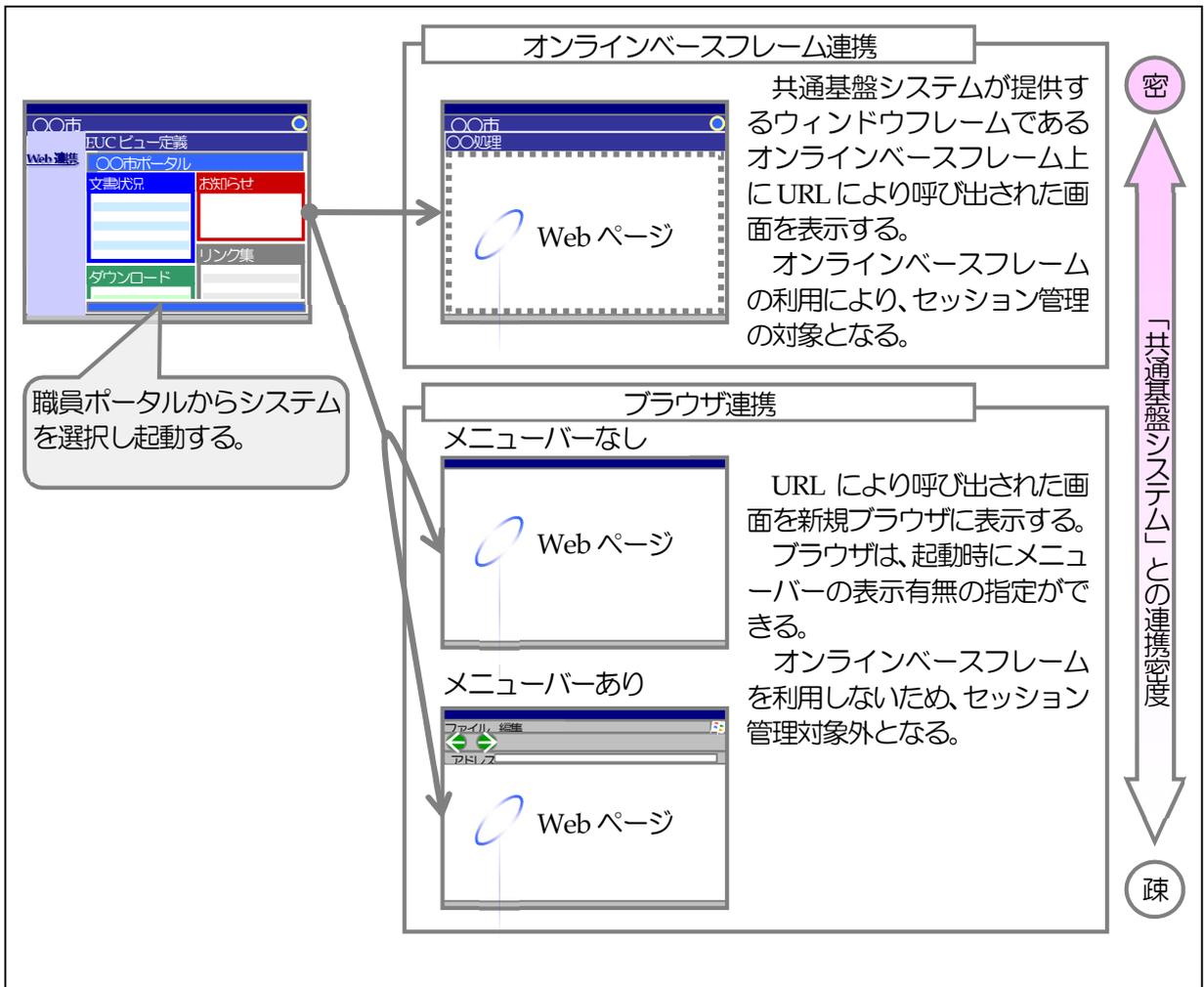


図3 ウィンドウ間の連携方式の概要

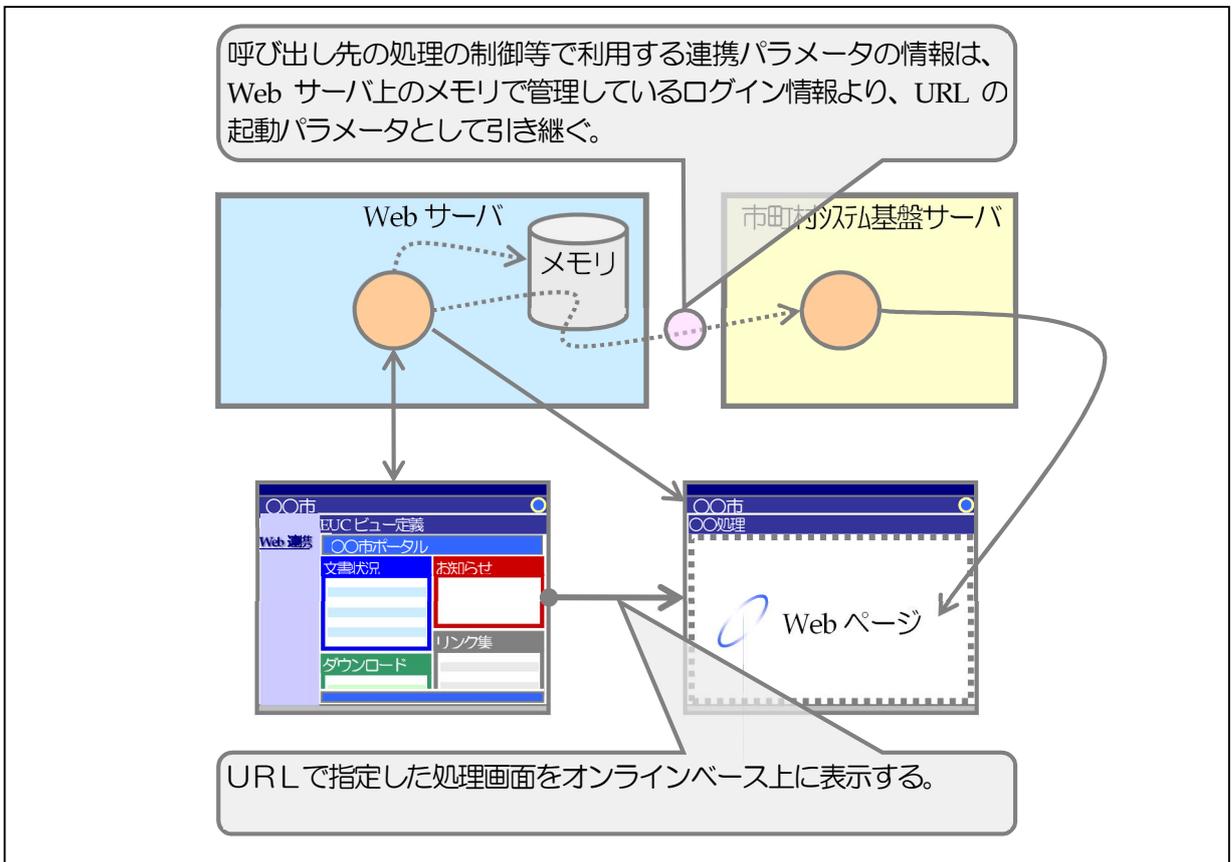
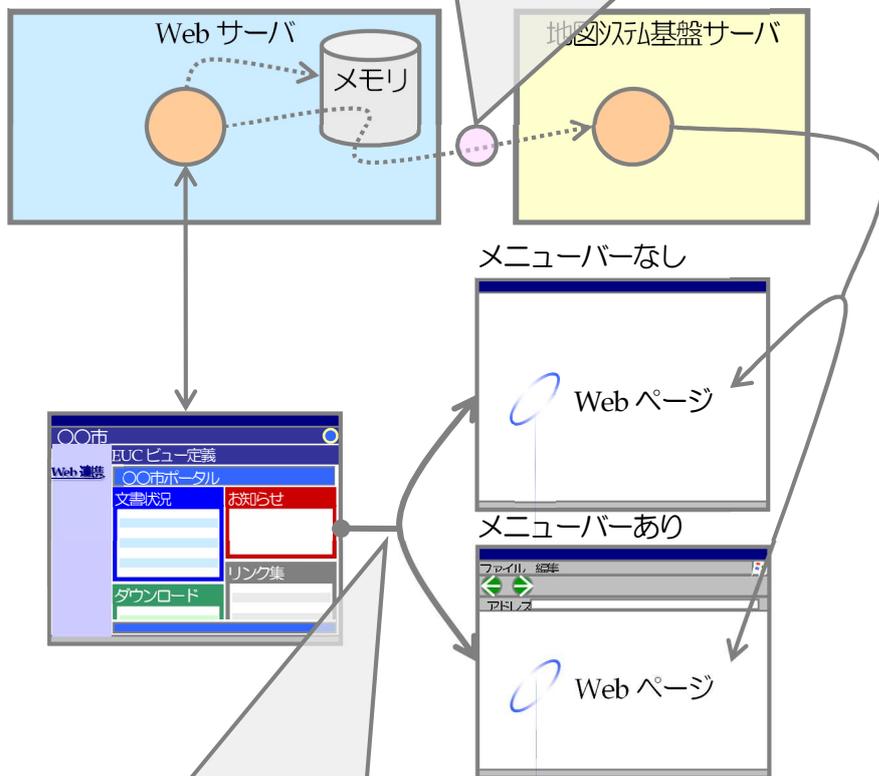


図4 オンラインベースフレーム連携の連携イメージ

呼び出し先の処理の制御などで利用する連携パラメータの情報は、Web サーバ上のメモリで管理しているログイン情報より URL の起動パラメータとして引き継ぐ。



URL アドレスで指定した処理画面を新規ブラウザ上に表示する。
ブラウザは、メニューバーの表示有無が指定できる。

図5 ブラウザ連携の連携イメージ

表1 連携パラメータ情報 (起動時に共通基盤システムから受け取り可能な情報)

項目	桁数	説明
システム日付	8	ログインした時点のシステム日付
端末 ID	15	コンピュータ名、又は IP アドレス 端末を一意に識別する為の指標
認証種別	2	認証種別 PS:ユーザ ID/パスワード、ID:ID カード、IC:IC カード
庁舎 CD	4	端末を管理している所属が配置する庁舎を示すコード
ユーザセッション ID	10	ログイン時に割り振られるユニークな ID
セッション ID	10	業務画面起動時に割り振られるユニークな ID
システム ID	2	起動された処理が属するシステムの ID
システム名称	20	システム ID が示すシステムの名称
サブシステム ID	2	起動された処理が属するサブシステム ID
サブシステム名称	20	サブシステム ID が示すサブシステムの名称
処理 ID	7	起動された処理の ID
処理名称	20	処理 ID が示す処理の名称
権限パラメータ	2	操作員が起動した処理を実行するための権限を判断する識別子
端末 ID 拡張	26	Web サーバ内の端末情報を一意に識別するための指標 端末 ID+. 9999999999 (10 桁乱数)
職員番号	10	職員番号
職員氏名	40	職員氏名
現年度	4	西暦年度 ※1
現年度所属 CD	10	所属 CD ※1
現年度所属名称	40	所属正式名称 ※1
現年度所属略称	30	所属略称 ※1
現年度異動履歴	1	異動履歴、年度内で異動する度に加算される ※1
現年度本兼種別	1	本務と兼務を識別するフラグ ※1
現年度兼務番号	1	兼務番号。複数兼務を識別する ※1
年度	4	西暦年度 ※2
所属 CD	10	所属 CD ※2
所属名称	40	所属正式名称 ※2
所属略称	30	所属略称 ※2
異動履歴	1	異動履歴、年度内で異動する度に加算される ※2
本兼種別	1	本務と兼務を識別するフラグ ※2
兼務番号	1	兼務番号、複数兼務を識別する ※2
連携ユーザ ID	20	他システムと連携するためのユーザ ID
連携パスワード	20	他システムと連携するためのパスワード (連携パスワードを複合化した文字列)
※1 : 現年度のシステム日付時点の本務職員情報。		
※2 : 操作が現在使用している(ログインユーザの)職員情報。		

以上